

【離島航路】

阿翁～御厨航路と殿ノ浦～今福航路、浦の崎～福島航路があります。

古くから、商業や人の交流の架け橋として、また離島住民にとっては生活を支える重要な生活交通機関として、なくてはならない航路です。

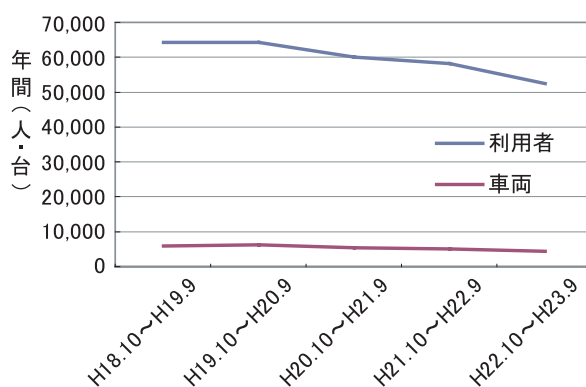
阿翁～御厨航路の利用者など（グラフ2）は、人口の減少とともに利用者が年々減少傾向にあります。しかし、平成21年4月の鷹島肥前大橋開通に伴い、釣り客などの利用者が増えているという一面もあります。

殿ノ浦～今福航路（グラフ3）の利用者数の減少が著しいのは、鷹島肥前大橋の開通が大きく関係しています。陸上交通での移動が可能となり、併せて同大橋の通行料が無料ということから、船離れが顕著に表れています。

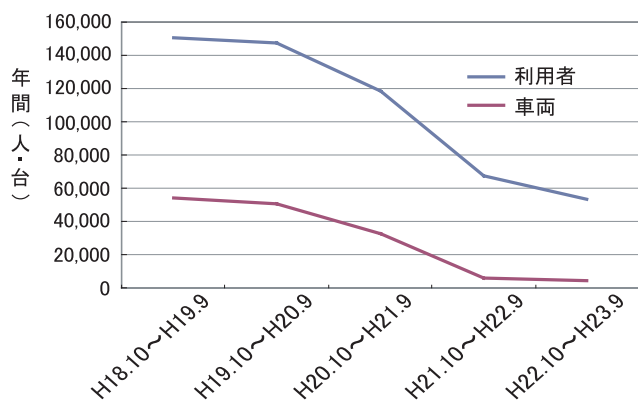
浦の崎～福島航路（グラフ4）は、浦ノ崎港と福島港を15分で結ぶ、通院・通学の足として重宝されています。しかしながら、生徒数の減少などで利用者が減ってきている状況です。



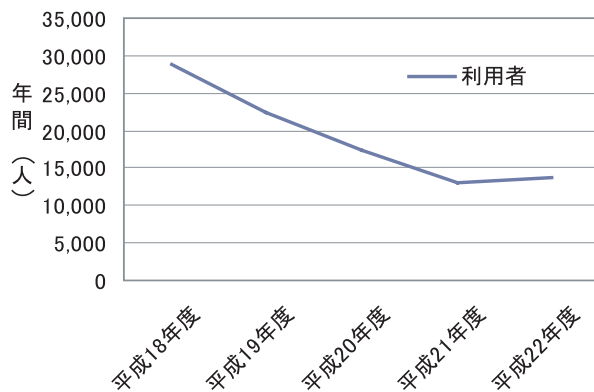
■グラフ2 阿翁～御厨航路利用者・車両数の推移



■グラフ3 殿ノ浦～今福航路利用者・車両数の推移



■グラフ4 浦の崎～福島航路利用者数の推移



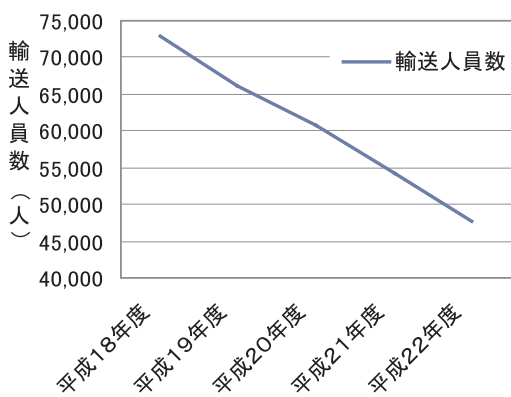
【市営バス】

旧鷹島町時代、町営バスとして鷹島島内の住民生活を支える重要な交通機関として運行していました。合併に伴い市営バスとして継承しています。

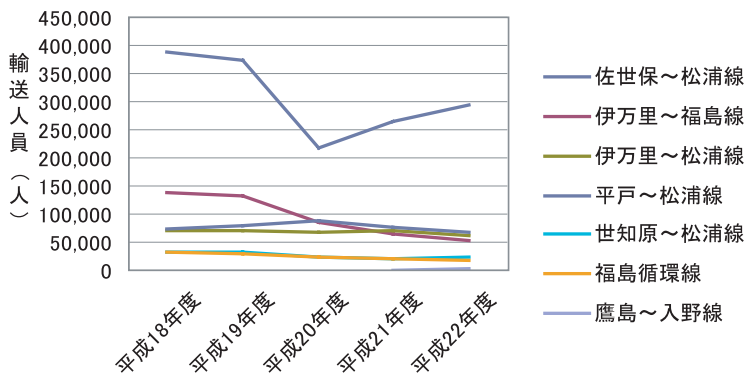
この市営バスの利用者も大幅に減っています（グラフ5）。平成18年度には、約72,800人が利用していましたが、年を追うごとに利用者は減り続け、平成22年度には約47,600人と減少の一途をたどっています。

要因としては、人口の減少に加え、架橋により本土との陸上交通での移動が可能となったため自家用車の利用が増えるなど、鷹島地区における交通体系が変化したためではないかと考えられます。

■グラフ5 市営バス輸送人員数の推移



■グラフ6 路線バス路線別輸送人員数（全区間）の推移

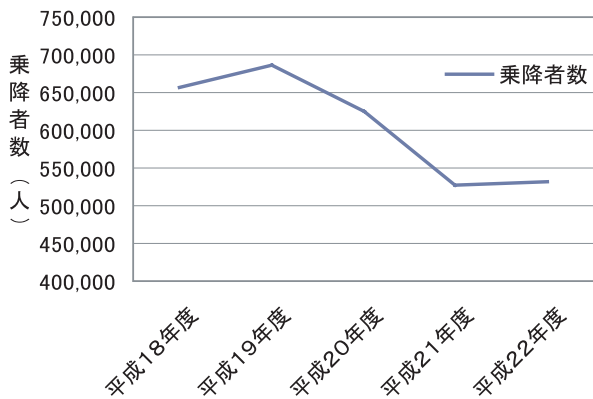


路線バスは、市内全域とほかの市町へまたがる広域な幹線として重要な役割を果たしています。平成21年4月からは鷹島肥前大橋の開通に伴い、鷹島く入野線を新設し、本土側への行き来ができるようになりました。

7路線を全体的に見ると(グラフ6)、福井經由佐世保松浦線だけが市内で唯一の黒字路線であり、ほかのすべての路線が赤字で、補助金を支出している状況です。

【路線バス】

■グラフ7 松浦鉄道松浦市管内年間乗降者数の推移



「MR」の愛称で親しまれている松浦鉄道は、旧国鉄の民営化に伴い、JR九州を経て、現在の松浦鉄道として有田く佐世保間を走っています。利用者は沿線の人口減少とともに少しずつ減少しており、特に北松北部の沿線の利用が少ない状況です。また、近年では松浦東高の閉校に伴う利用者の減も大きな要因と考えられます。

【松浦鉄道】



利用者が減り続けたら

自家用車の普及や道路網の整備、さらには人口の減少など、公共交通機関を取り巻く環境が大きく変わってきている現在、市内を走るどの公共交通機関においても利用者数は減り続けています。

また、長引く景気の低迷や、原油高などの影響を考えると、このまま利用者数の減少に歯止めがかからなければますます事業経営は厳しくなり、利用者数の少ない路線では便数の減少、さらには路線そのものが廃止になり事業の撤退を余儀なくされることも否定できません。

もし、市内から公共交通機関が無くなったら…。

公共交通機関を守るために

このような事態にならないために、市では公共交通機関の維持を目的とした補助金による事業者への支援や、国・県の支援策を活用しながらサービス保持のための努力を続けるほか、市民、事業者、行政の各代表で組織される「松浦市地域公共交通活性化協議会」を設置し、公共交通機関の維持と利用促進のための方策などを検討しています。さらには、利用しやすくするためには、ホームページで時刻表を公開したり、運行ダイヤの調整を行っています。

しかしながら、安定した事業を続けていくには、まだまだ十分とはいえません。

公共交通機関は、暮らしの利便性と快適性を確保し、市民生活を支える重要な移動手段であり、本市にとって観光による地域振興を図る上でも重要な役割を果たしています。

また、多くの人が公共交通機関を利用し、自家用車の使用を抑えることで、温室効果ガスの削減といった地球温暖化防止への効果もあります。

今後、公共交通機関によるサービスを維持していくためには、市民、事業者、関係機関、行政が連携し、利用促進を図るなど、地域を支える「生活の足」として守り育てていくことが大切です。常生活の中で定期的に公共交通機関を利用するなど、できることから始めてみませんか。

こんなにもよー公共交通機関のメリット

- ・プロの運転手が運転するので、安全・安心
- ・駐車場や駐車料金が不要ない
- ・お酒を飲んでも大丈夫
- ・途中下車して歩けば、運動不足解消にもなる
- ・自動車の台数を減らすことで、排気ガスに含まれる粉じんや二酸化炭素削減につながる

問合せ先 Ⅱ 商工課交通対策室
☎ 内線260